

平成29年度北海道地域学校協働活動推進管内別研修会（檜山会場）事業報告書

本研修会は、管内における子どもの学びや成長を支える活動を推進している人材の資質向上を図るとともに、地域学校協働活動の一層の充実を目指すことを目的に開催しました。

■日時：平成29年10月11日（水）

■会場：檜山合同庁舎 4階講堂

■参加者：39名

地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動、子ども未来塾の各事業で活動している方、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動を推進する方、教育委員会職員、教職員、PTA、教育委員、社会教育委員、ボランティア活動を行っている方、北海道家庭教育サポート企業の従業員やその家族の方等

■日程：

	1300	1310		1340	1350		1510		1550
	受付	開会	(1)説明	休憩	②実践発表		③情報交流		閉会



管内全町から参加



石田貴宏主査による「説明」

【説明】「これからの学校と地域の連携・協働体制とコーディネーターの役割」

北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ主査 石田 貴宏

- 今後の地域における学校との協働体制の在り方について
- 本道の各事業の現状について
- コミュニティ・スクールの仕組みづくりについて
 - ・ 学校運営協議会規則
 - ・ 組織と体制づくり
 - ・ 「熟議」（話し合い）による目標の共有
- 本道の学校を応援する地域の組織体制の先導的事例について



上士幌町教育委員会による「実践発表」

【実践発表】「上士幌町ゆめ育応援団～CSと地方創生～」

上士幌町教育委員会教育長 小堀 雄二 氏
上士幌町教育委員会生涯学習課社会教育主事 高橋 克磨 氏

- 上士幌町の教育環境整備の状況について
 - ・ 地方創生に向けた上士幌町総合戦略とかみしほろ学園構想について
 - ・ 概ね10年後を見据えた教育環境の整備や施策について（子ども教育ビジョン）
- 上士幌町における学校と地域住民が連携協働した取組の実践について
 - ・ 上士幌町におけるコミュニティ・スクール設置の経緯について
 - ・ 上士幌町地域学校協働本部（ゆめ育応援団）について
 - ・ 学校運営協議会とゆめ育応援団との関わりと学校運営協議会の事業について
- 上士幌小学校CS協議会の事業について



「情報交流」における質疑応答

【情報交流】

進行：北海道教育庁檜山教育局教育支援課社会教育指導班主査 松浦 賢一

- 参加者からの質疑応答と参加者自身の取組の振り返り
- 説明や実践発表を踏まえ、今後の取組について意見交換



情報交流の様子

【参加者の声】

- 説明を聞いて、コーディネーターの役割が学校教育活動を活発にしていくためにはとても重要なことであると感じた。
- 実践発表を聞いて、今後の（学校）応援団作りと活動の幅を広げるヒントをいただいた。
- 実践発表からは、実際のCS導入に至る経過を説明してくれたので参考になった。
- CSに取り組む一つの形として、とても良い意見を聞くことができた。
- CS導入までの準備や手順がわかりやすかった。地域コーディネーターがいない状況では、学校が主体となって進めていくことが必要と考える。